

インターネットを安心して使うために 知っておきたいこと

一般社団法人ECネットワーク理事 原田 由里



安心して利用できるEコマース市場を目指して活動。ネット関連の消費者相談を受ける。講演、啓発教材・書籍への寄稿や、関係省庁研究会、業界団体等委員などに参加。消費生活コンサルタント・消費生活アドバイザー・消費生活専門相談員

インターネットで、わたしたちの生活は、ますます便利になりました。たくさんの情報が得られるのは魅力的ですが、そこには現実世界ではありえない思わぬ落とし穴があるかもしれません。

インターネットは便利な道具としてバランス感覚を養いつつ、安心して利用するにはどうしたら良いかを考えてみましょう。

1 インターネット通販「それってマトモな広告？」

〔広告を見分けよう！〕

インターネットで欲しいモノやサービスを見つけたきっかけ、何でしたか？ 広告？ それとも評判や口コミ？ インターネットの広告は、見る人の属性や嗜好に合わせた広告が表示され、広告とすぐにわかるものもあれば、パッと見、広告に見えないものもあります。

例えば、特集記事や口コミに見えるけど、「PR」「AD」などがあれば、それは広告記事です。検索結果に「広告」と表示されているのも広告。

中には、お金をもらって書いているのに、一切広告とわからなかったり、成功報酬を目当てに過激な表現を使って客を集めるような広告主も紛れています。

〔こんな広告に注意！〕

「1ヶ月で10キロやせた」「病気に効果絶大」「毛がフサフサ」「中高年の腹がペタンコ」「芸能人も愛用」なんて広告、良く見かけませんか？ あと、「今すぐ稼げる情報無料公開！」「AIが勝手に儲けてくれる」「スマホ1つで副業」なんていう“楽してもうけ話”も。

身体やお金など、人のコンプレックスを刺激する商品の広告は、その根拠が本当にあるのか特に注意が必要です。効果がなくてガッカリ……だけではなく、さらに「お試したつもりが定期購入だった」「次々と別の契約を勧められた」「効果がないのに返金してくれない」「悪質なマルチだった」「連絡取れない」なんていうトラブルも発生しています。

突然現れる「セキュリティチェック」「スマホ当選」なども、ただの広告です。